

がいほりを軸とした水辺再生の取組をつたえる

しゃくじい 石神井池 水辺 しんぶん

No. 7
2023年9月

登録番号 5 (3)

発行
東京都
東部公園緑地事務所

編集
認定NPO法人
生態工房



アメリカザリガニ 防除実施中

生物多様性の回復も 目指して！



条件付特定外来生物になると…？

飼育

放出

販売
購入

詳しくはコチラ

環境省ホームページ
「日本の外来種対策 アメリカザリガニ」



アメリカザリガニによる水草被害例



浮葉植物のトチカガミが群生していましたが、アメリカザリガニが侵入してトチカガミが消失しました。
(都立光が丘公園、左：2015年9月 右：2016年7月)

生態系に被害をおよぼす
アメリカザリガニ

水草は、池底の泥の巻き上がり
を抑えて水を透明に保ったり、水
生昆虫などにすみかを提供する働
きがあります。そんな水草を食べ
たり切ったりしてしまうのがアメ
リカザリガニ。水草が無くなると、
池の水が泥によって濁ったり、ゲ
ンゴロウなどの水生昆虫が絶滅し
てしまいます。こうした被害が広
がっていることから、2023年
6月から外来生物法によってアメ
リカザリガニの野外への放出や販
売等が禁止されました。

身近な場所でも水草が被害に！

このような被害は全国に見られており、
石神井池も例外ではありません。石神井池
では2021年のかいほりの後に透明度が
向上し、沈水植物のイトモの仲間が生えて
きましたが、食べられたり切られたりした
ことで消失してしまいました。

石神井池での対策

こうした被害を解消して生物多様性の豊
かな石神井池に再生していくために、東京
都と指定管理者（東京都公園協会）ではボ
ランティアとの協働でアメリカザリガニの
防除を行っています。

2021年から3年間の捕獲データから
は、アメリカザリガニの増殖を抑えてはい
ないものの、減少はさせるまでには到ってい
ないことがうかがえます。2023年は、
前年よりも捕獲ワナを増やし、約150個のワ
ナを設置しま
した。生息密
度を下げるこ
とをねらって、
4月から始
まった防除作
業を、水温が
低下してワナ
に入りにくく
なる10月末ま
で続けます。



ザリガニ捕獲ワナ設置の準備

注

石神井池に沈水植物や浮葉植物が見
られないのは、アメリカザリガニの
ほか、コイ（飼育型）や水質悪化な
どの要因もあると考えられます。

生きものの持ち込みは
やめてください!

かいほりを始めとした自然再生活動に取り組んでいる石神井池で、投棄された外来種の魚や水草の発見が相次いでいます。

散策中によく目につくのは、大型のニシキ

ゴイ。2022年以降、17匹以上が捕獲され、あるいは死体が回収されました。コイは水生昆虫や貝、水草などを捕食するほか、泥を巻き上げて水を濁らせてしまいます。コイヘルペスウイルス蔓延防止の観点からも放流は禁止されています。勝手な持ち込みは絶対におやめください。このほか、釣魚のタイリクバラタナゴなども持ち込まれています。

外来種の持ち込みは魚だけではなく、ホテイアオイ、アマゾントチカガミといった観賞用水草も投げ込まれています。これらの外来水草は増殖しやすい特性があるため、管理が困難です。見つけ次第、回収、廃棄しています。外来種の持ち込みを自撃した場合には公園サービスセンターに連絡してください。



死体となって浮いていたニシキゴイ



釣魚として人気のあるタイリクバラタナゴ



外来種のアマゾントチカガミ



見つけ次第、網ですく取っている

ピックアップ! News

協働スタート



ザリガニ捕獲ワナの扱い方を学ぶメンバーたち

石神井公園で保全活動をしている人が増えたことにお気づきでしょうか? 公園の指定管理者(東京都公園協会)が公募したボランティア「石神井生物多様性部」が、公園との協働による活動を開始しています。全5回の講習を受けた54名のメンバーが、水辺の生物のモニタリング、アメリカザリガニ防除、植生管理作業などに取り組んでいます。



黄色いのが目印!

しゃくじい自然図鑑

水草の多い池や湿地に生息するトンボ。今年は数が多く、園路の脇の草むらでよく観察されました。目の覚めるような鮮やかな色ですが、草の中では意外に目立ちません。

東京都レッドリスト
絶滅危惧IB類



キイトンボ



水草を間引いて水面を回復する作業